

令和 6 年 6 月 10 日現在

機関番号：14501

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：19K19552

研究課題名（和文）擬似共同体験による熟練看護師の思考構造の可視化

研究課題名（英文）Visualizing the thought structure of skilled nurses through simulated joint experience

研究代表者

上田 記子（Ueda, Noriko）

神戸大学・保健学研究科・非常勤講師

研究者番号：40757217

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,200,000円

研究成果の概要（和文）：コロナ禍で医療者を対象とした実験実施が非常に困難となり、研究方法について何度も検討を要し、準備段階で非常に時間を要した。方法の再検討後に倫理申請をし、上記方法で実施すべく実験準備に入った後も研究対象者を確保することに時間がかかり、なおかつ自身の急な体調不良（手術と入院をともなう）により、研究実施を継続することが困難となった。研究実施最終年度であるため研究を廃止できず、また、翌年以降の研究環境の確保も難しいために研究期間を延長することができず、研究中断となったまま今に至る。しかしながら、先行文献等を検討して今回のような研究方法を導き出した点においては、本分野の今後の研究への一助となったと考える。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究中断により研究成果を得ることができなかったが、本研究方法である「自分ではない別の看護師の援助場面の動画を見るという擬似の体験の共有によって、あたかも自分自身が援助をしているかのように思考する」という着眼点については、本分野の今後の研究発展への一助となると考える。

研究成果の概要（英文）：The research was conducted during the duration of the covid-19 pandemic, which made it extremely difficult to conduct experiments on medical personnel, and it took an unexpectedly long time in the preparation stage due to repeated discussions on the research method. After reexamining the research method, I submitted an ethics application and began full-scale preparations to conduct the experiment using the above research method, but it still took time to secure the research subjects and my sudden health problems (surgery) made it difficult to continue conducting the research. Since it was the final year of the research, and since it was difficult to secure a research environment for the following year and beyond, the research period could not be extended, and the research has been suspended until now. However, I think that the fact that I was able to derive the research method used in this study by examining the preceding literature has contributed to future research in this field.

研究分野：看護教育

キーワード：熟練看護師 思考 看護教育

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

高度医療の発展にともない看護師にはより高度で熟達化した技術と知識が求められている。また4人に1人が後期高齢者となる2025年を目前にし、看護師不足の解消とともに看護師の質の向上が喫緊の課題となっている。看護師不足の解消に関しては、看護師養成や潜在看護師の再就業支援等により年間約3万人増加しているが、今後も需要に対する供給不足の状況が予測されている¹⁾。したがって、新人看護師においても高い実践能力が求められており²⁾、熟練看護師といわれるレベルになるまでにかかる期間を短縮化するべく教育をより効果的に実施する必要がある。そのためには経験を積み重ねることではしか獲得できないといわれている熟練看護師の暗黙知を含む複雑で卓越した思考を明らかにし、言葉や数値で明示できる形式知として構築していくことが必要不可欠である。また病棟単位や病院単位での看護の質の担保を考えた場合、看護師の適正な人員配置の視点として看護師個人の思考を含む能力評価を適切に行う必要があり、その点においても熟練看護師の思考構造の可視化は必須の課題である。昨今この思考の解明に取り組んでいる研究は多く、熟練看護師の行動や詳細な動作は測定機器の発展にともない様々な方法で測定されつつある。一方、看護の対象は人であることから、行動や動作の模倣が必ずしも知の獲得につながらず、なぜその行動・動作に至ったのかという思考が必要となるが、熟練看護師の思考構造の解明の方法論は確立されていない。その要因として、無意識下の思考や暗黙知、チャンク化されたデータや情報の存在³⁾があり、思考を当の本人だけで言語化することは非常に困難であることが考えられていることが挙げられる。そこで本研究では他者による思考の推測が思考構造の解明において重要なプロセスであるという観点から、援助場面の動画教材を視聴することで擬似共同体験をしてもらい、その場面での思考や行動を発話してもらうことで対象者の思考を抽出する。佐藤ら⁴⁾は他者が行う授業ビデオを熟練教師に観察してもらい、考えを発話してもらう実験を行っているが、その際「熟達者は観察者という立場にありながら、まるでビデオ画面の中の授業者として参加しているかのように、状況に積極的に関与し思考している」と述べている。中原ら⁵⁾は看護師のPNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)における共同体験を通して相手の思考プロセスに入り込むことができると考えられるとしていた。本研究においても、自分ではない別の看護師の援助場面の動画を見るという擬似の体験の共有によって、あたかも自分自身が援助をしているかのように思考することができ、この擬似共同体験は実際に援助を実施する時よりも思考を言語化しやすくし、思考構造の可視化に近づくことができると考えられる。

- 1) 厚生労働省, 医療従事者の需給に関する検討会 第11回看護職員需給分科会 資料3, 2019
- 2) 厚生労働省 2014, 新人看護職員研修ガイドライン改訂版
- 3) 前田樹海, 北島泰子ら: 看護師の急変予知の表現特徴の暗黙知性 情報学的考察, 第17回日本医療情報学会看護学術大会論文集, P119-120, 2016
- 4) 佐藤学, 岩川直樹ら: 教師の実践的思考様式に関する研究(1) 熟練教師と初任教師のモニタリングの比較を中心に, 東京大学教育学部紀要(30), P176-198, 1990
- 5) 中原明日香, 奥園夏美: PNSにおける暗黙知獲得に向けた気づきの言語化や共有化の実態, 日本看護学会論文集 看護管理, P7 - 10, 2015

- 3) 厚生労働省, 医療従事者の需給に関する検討会 第 11 回看護職員需給分科会 資料 3, 2019
- 4) 厚生労働省 2014, 新人看護職員研修ガイドライン改訂版
- 3) 前田樹海, 北島泰子ら: 看護師の急変予知の表現特徴の暗黙知性 情報学的考察, 第 17 回日本医療情報学会看護学術大会論文集, P119-120, 2016
- 4) 佐藤学, 岩川直樹ら: 教師の実践的思考様式に関する研究(1) 熟練教師と初任教師のモニタリングの比較を中心に, 東京大学教育学部紀要(30), P176-198, 1990
- 5) 中原明日香, 奥園夏美: PNS における暗黙知獲得に向けた気づきの言語化や共有化の実態, 日本看護学会論文集 看護管理, P7 - 10, 2015

2. 研究の目的

本研究は、熟練看護師と新人看護師を対象に「(対象者ではない)熟練看護師が模擬患者の病室を訪室して援助を実施する場面の動画教材(以下援助場面動画教材)」を視聴してもらうという擬似の体験の共有(擬似共同体験)をしてもらい、思考に関する発話内容の比較検討を通して、熟練看護師の思考構造を明らかにすることを目的とした。また、その方法論を検討するとともに、熟練看護師の思考能力を明確にし、看護師の思考能力評価項目を作成する。熟練看護師の持つ卓越した思考構造を明らかにする方法が確立できれば、これまで経験を積むことで獲得していた複雑で高度な思考や技術を教育によって一定のレベルまで身に付けることが可能になると考えられ、看護の質の向上と医療の質の向上に繋がり学術的にも社会的にも意義が深い。また、看護師の思考能力の評価方法確立の基礎的部分を担うという点においても非常に重要な研究であると考えられる。

3. 研究の方法

(1) 研究デザイン

対象者には援助場面動画を 2 回視聴してもらい、初回視聴時と 2 回目視聴時とでそれぞれ異なる方法によって、動画内で実施されている行動や看護師の思考について発話してもらう。初回視聴時は、対象者一人で動画を視聴してもらい、動画を視聴しながら一人でつぶやくように思考を発話する「think aloud 法」で思考を測定する。2 回目視聴時は、グループで動画を視聴し、グループインタビューという形で思考を発話してもらうことで思考を測定する。グループは看護師の経験年数によって、「熟練看護師グループ」、「新人看護師グループ」に分けてインタビューを実施する。

(2) 対象

データ収集期間において病院に勤める看護師で以下の適格基準を満たしたものを対象とする。

<適格基準>

- ・ 看護師経験年数2年未満の者(新人看護師)、または看護師経験年数10年以上の者(熟練看護師)
- ・ 研究参加に関して文書による同意が得られた者

(3) 調査項目

【擬似共同体験での思考】

本研究では、対象者に「(対象者ではない別の)熟練看護師が模擬患者の病室を訪室して援助を実施する場面の動画教材(以下援助場面動画教材)」を視聴してもらうという擬似の体験の共有(擬似共同体験)をしてもらい、動画の中で実施されている思考や思考の結果の行動について発話してもらい、その発話データから思考を測定する。使用する援助場面動画教材は、熟練看護師が模擬病室で模擬患者に援助を行う場面を撮影したものをを用いる(2014年撮影)。援助を実施する熟練看護師には動画教材として用いることの同意を撮影

時に得ている。

対象者は2回動画を視聴し、初回と2回目それぞれ異なる方法で思考を発話する。初回動画視聴と2回目動画視聴時の思考の測定は別日ではなく、同日に実施する。

(1) 動画の初回視聴時：think aloud 法での思考の発話

初回視聴時は対象者一人で動画を視聴してもらい、動画を視聴しながら一人でつぶやくように思考を自由に発話する「think aloud 法」で思考を測定する。動画はタブレット PC で視聴してもらい、どの援助場面での発話であるかが記録できるように、タブレット PC の画面録画機能を用いて、動画画面と発話音声を記録する。この think aloud 法での測定時間は 50 分以内を予定とする。

(2) 動画視聴 2 回目：グループインタビューでの思考の発話

動画視聴 2 回目は、対象者は自分の属するグループ(新人看護師グループ、熟練看護師グループ、各 5 名編成)で援助場面動画教材を視聴しながら、熟練看護師の援助に関する行動や思考について自由に発言してもらい、グループインタビューでの思考の測定は、他者の発言をきっかけにしてその行動や思考をあらためて考えることができ、無意識化されている暗黙知を含む思考を認識して言語化するために効果的であると考えられる。インタビュー時間は 1 時間以内を予定とする。インタビューでの発言は、援助場面動画教材のどの場面での発言かも記録する必要があるため、その画面がうつるようにビデオカメラを設置して撮影する。撮影したものを文字データに変換して分析する。

4 . 研究成果

コロナ禍での研究であり、医療者を対象とした実験の実施が非常に困難となり、研究方法について何度も検討したことにより準備段階で思いのほか時間を要した。研究方法の再検討後に倫理申請をかけ、上記研究方法で実施すべく本格的な実験準備に入った後も研究対象者を確保することに時間がかかり、なおかつ自身の急な体調不良（手術と入院をともなう）により、研究実施を継続することが困難となった。研究実施最終年度であることにより、研究廃止できず翌年以降の研究環境の確保も難しいことから研究期間を延長することができず、研究中断となったまま今に至る。しかしながら、先行文献等を検討して今回のような研究方法を導き出した点においては、本分野の今後の研究への一助となったと考える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------